



## 平和な未来を担う、カンボジアの子どもたち —保健・教育NGOによるカンボジアでの国際協力活動—

雄大な世界遺産：アンコールワットで有名なカンボジア。一方で、長い紛争や大量虐殺という悲しい時代を経験してきました。現在は一定の安定を取り戻し、急速な経済成長を遂げていますが、貧富の差や都市と農村の格差が拡大し、保健や教育など、基本的な社会サービスを受けることができない人々も数多く存在します。

今回の報告では、国際協力に関わる二人の鹿児島おごじょが、カンボジアの平和な未来を担いゆく“子ども”に焦点をあてた、保健および教育分野での活動についてお話しします。

【日時】 11月19日（土） 15:00～17:00 （14:30 開場）

【場所】 かごしま県民交流センター3階大研修室2（鹿児島市山下町14-50）

### 【スピーカー】

#### 1. 虎頭恭子（シェア地域保健専門家）

青年海外協力隊およびNGOを通して、ホンジュラス・グアテマラ・ケニアで看護師として、母子保健活動に携わる。2008年より地域保健専門家としてカンボジア駐在。農村地域で子どもの健康改善に取り組む。

シェアとは：

健康で平和な世界を全ての人とわかちあう（シェア）ために、草の根の立場から行動を起こした医師・看護師・学生等が中心になり、1983年に結成された国際保健NGOです。すべての人が心身ともに健康に暮らせる社会を目指し、タイ、カンボジア、東ティモール、南アフリカ、日本で進めています。カンボジアでは1998年より地域保健活動を始め、主に保健状況の厳しい農村地域で人材育成、病院や保健センターといった保健システムへの支援、保健教育などを通して健康な村づくりをめざして活動しています。



#### 2. 丸野里美（いっしょき学校を作いもんそ会事務局長）

青年海外協力隊小学校教師としてカンボジアで活動。帰国後も「カンボジアの人々と鹿児島の人々がつながる活動をしたい」という想いのもとに、NGO活動に関わる。



いっしょき学校を作いもんそ会のめざすもの：

- ・ 子どもたちが学校に行けない地域の問題を、自分たちの未来にもつながる問題として取り組む。
- ・ 「自分もできることを何かしたい」と希望する人の想いを実現させる。
- ・ 現地の人々との話し合いを基本とし、その土地で自立できる子どもの教育のために各分野の連携を図る。
- ・ 現地での活動の進め方や問題点を、鹿児島の学校や地域社会と一緒に考え、様々な立場や形で参加できる鹿児島での活動も同時に展開する。

### 【申込】

info@share.or.jp または FAX 03-3837-2151（担当：山瀬）まで、

件名：「カンボジア活動報告会 in 鹿児島」と下記の情報を明記してお申込ください。

本文：氏名（ふりがな）、職業、郵便番号・住所、質問事項、電話番号、

メールアドレス、どこでこの報告会を知りましたか？（具体的に： ）



（認定）特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会（担当：山瀬）

〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル5F TEL：03-5807-7581

URL：http://share.or.jp